

会報 大ヶ谷戸こだな

発行責任者
大ヶ谷戸小田中町会長 志村 勝
編集 町会広報部
印刷 (株)中溝グラフィック
044(333)2787



総会を終え新たなスタート

町会長 志村 勝

会員の皆様、日頃町会の運営にご協力ありがとうございます。また、役員の皆様には諸事業の推進、本当にご苦労さまです。町会も総会が終わり、新たな事業の開始となりました。まず、ゴミの集積ボックスについては、前年度に依頼した業者の都合で大幅に遅れてしまい皆様には大変ご迷惑をおかけしました。そこで新たな業者に発注し早期に各部に一カ所配置する事に致します。また、子育てに悩む若いお母さん方に、育児経験豊かな町会婦人部の皆さんが育児相談にあたっていただくに継続的に取り組んでいただきます。つぎに、子供会と町会は連携をしっかりと取っていきたいと思います。学校も週五日制の実施が定着し、わくわくプラザのスタートなど地域の子供たちがどんなふうに住活しているのか、新たな課題は起きていないのか、将来を担う子供たちに町会の役員一同

もしっかり活動を応援していきたいと思っております。子供会役員の方々も、渡辺会長を中心に尚一層のご活躍をお願い申し上げます。その他、本年の盆踊りの実施については大谷戸小のグラウンドを使用し近隣町会と一緒に取り組みをしていきたいと思っております。尚、町会主催のスポーツ大会、お祭りなど、多くの皆様のご参加をいただき楽しいイベントとしていきたいと思っております。また、中原警察管内、わが町会にも空巢事件等犯罪が多数おきています。皆様と一緒に連携を取りあい防犯にも取り組んでいきたいと思っております。本年も、町会として、会員の皆様の立場で、私たちの住むこの町会をよりよくするために、様々な取り組みをすすめていきたいと思っております。終わりに、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。少しくお役に立てます様思っております。

町会役員改選

◎長い間ご苦労様
◎町会のためによく頑張った
◎新副会長 齊藤 春夫
本年度総会において皆様から推挙、承認され、二部の副会長に就任しました齊藤です。町会の皆様とともに住みよい町づくり建設の一端を担う一人として努力・協力していきたく所存です。

現在二部では、新横浜一宮内線道路拡張工事中です。今後、完成し、開通後は、町会が二分され、環境の変化が著しくなります。

総会にて、承認されました事業計画に基づき努力しますので、長谷川前副会長同様より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

◇前副会長 長谷川 昭
縁あって小田中町会にお世話になりました。現在何とか生活が出来ます。現在何とか生活が出来ます。

◇新副会長 齊藤 春夫
本年度総会において皆様から推挙、承認され、二部の副会長に就任しました齊藤です。町会の皆様とともに住みよい町づくり建設の一端を担う一人として努力・協力していきたく所存です。

以下会長が話された内容は1.一部、四部各部に一〇%の活動費を計上したので、各部で責任をもって運営にあたってほしい。

2.ごみ集積所、業者の都合で遅れたが、他の業者に依頼し、予定通り実施する。

3.防災は、今まで婦人部が中心として実施してきたが、今年から町会として取り組む。

4.敬老の祝については七〇才、七七才、八八才、九九才以上の方々に祝うよう従来の方式を変える。

5.盆踊りは、近隣の町会合同で行い、期日は七月二十五日より二十七日までの三日間、場所は大谷戸小学校で実施する。

大勢で、しかも安全な盆踊りとなる。大谷戸小の校長も「是非、使ってほしい。」と、申し出ていた。

6.その他、地域の防災や子育て支援などについても話しがあり大変、和やかな中に有意義な会だった。

町会総会を終える 新たな出発!

五月十八日、四十二回目の総会が小田中会館で行われた。会長は、はじめに人事にふられて、長い間第二部の副会長として活躍いただいた長谷川 昭様が、健康上の理由でご退任になられることで、丁重な饗いの言葉を示された。また、後任としては現会計の齊藤春夫様が副会長に就任されたこと、そして益々のご活躍を願いたいとの紹介があった。

以下会長が話された内容は1.一部、四部各部に一〇%の活動費を計上したので、各部で責任をもって運営にあたってほしい。

2.ごみ集積所、業者の都合で遅れたが、他の業者に依頼し、予定通り実施する。

3.防災は、今まで婦人部が中心として実施してきたが、今年から町会として取り組む。

4.敬老の祝については七〇才、七七才、八八才、九九才以上の方々に祝うよう従来の方式を変える。

5.盆踊りは、近隣の町会合同で行い、期日は七月二十五日より二十七日までの三日間、場所は大谷戸小学校で実施する。

大勢で、しかも安全な盆踊りとなる。大谷戸小の校長も「是非、使ってほしい。」と、申し出ていた。

6.その他、地域の防災や子育て支援などについても話しがあり大変、和やかな中に有意義な会だった。

森校長先生大いにハッスル (第三十五回運動会を開催) 会長 渡辺 信夫

子供会主催の第三十五回の運動会を、大谷戸小学校の校庭で五月二十五日(日)に開催いたしました。志村町会長はじめ、各部副会長他、町会の役員の出席と今回は大谷戸小学校の森校長先生の特別参加をいただきました。校長先生には幾つかの競技に参加頂き、大いにハッスルされ楽しんでました。今年には子供をはじめ、ご来賓ご父兄・役員約二百名が競技に参加し、楽しい一時を過ごしていただきありがとうございます。



森校長先生、子供との借物競争

【子供会総会の開催】平成十五年の総会を五月二十一日小林副会長の出席を頂き開催いたしました。新年度の行事計画及び予算案を全員の賛成を頂き、子供たちが子供会の行事に参加することに、強く明るく育つ場となるよう、今年も役員一同、一年間頑張る所存です。

◎今後の活動計画◎七月の夏季行事・盆踊りの協賛・祭礼の協賛・友達ラリー・餅つき大会・書き初め及び絵画の作品展等を計画しており、年度案内を会員のご家庭に配布いたします。

★新年度の役員紹介★会員及び三役は昨年と同様で各部の役員は左記の通りです。

一部 今野佳子
二部 杉本真恵
三部 松尾昌樹・塩屋めぐみ・山田ゆかり・宮本礼子

防衛庁 佐藤英子・飯田理恵・清家純子・土田千佳子
四部 金子泰久

今年度の抱負は 助成金をいただいて

今回、町会のご厚意によって、すみれ会の会旗が新調されました。ありがとうございます。これからの行事には、この会旗をかかげ胸をはって参加したいと思っております。今年度の大きな行事として、五月八日、エポック中原で区老連演芸大会に初めて出場しました。男女の混声合唱です。指揮者は民生委員の新倉千代子さんでした。田村さんが作ってくださった譜面を



すみれ会の会旗

婦人部活躍しています

雷雨の中、志村町会長をはじめ二十八名のご出席を頂き、婦人部総会が開催されました。今年度の婦人部活動は毎月の配布物の配布、日赤募金活動など行っています。(今年度の三十二万七千三百円は納入済み)

また、毎年行っています婦人部主催の消防訓練は、今年度は、大地震の発生に揃えて、町会全体の事業として、防災訓練を大々的に行うことになりました。

五月二十六日の岩手県・宮城県の大地震を見聞すると日頃より防災対策を心する必要性を痛感しました。

昨年までの消防訓練の経験からするならば、見学だけではなく、各個人が積極的に実践すること、また、一回ではなく何回も回を重ね体験する事により、行動が身につく、万が一の時に慌てず、落ちついて対応することが出来ると思っております。

ぜひ、今年度の訓練にも参加して下さい。

※(裏面にも続きます)

すみれ会にふさわしく
や「わたしたちの出来る街への協力」などみんなで話し合い、生きていく喜びを態度で示していきたいと思っております。また、会員相互の親睦もはかり楽しい会にしていきたいと思っております。みなさんの入会をお待ちしています。最後に町会より特別にご予算をいただいておりますことに感謝いたします。

今・地域の学校では

「西中原中学校編」

その5



校長 川辺次郎

小田中町会をはじめとする地域の皆さんに支えられて、本年度も西中は九六〇名を超える市内最多の生徒数で元気いっぱいです。

学校全体としての努力目標は「新教育課程の二年次、本校生徒の視点からさらに検討・実践をすすめ、『西中らしさ』を発展させる」です。

つまり学校五日制のもと新指導要領を具体化していく時、

「わたしたちの街で桃の栽培が行われていた」と、みなさんは想像つくでしょうか。

ところが、この中原、とりわけ小田中でも、昭和の始め頃まで桃の栽培が行われていました。はじめのうちは農家一軒一軒が牛車で、多摩川を舟で渡り、東京の芝白金の市場に出荷していました。後に、中原街道に面した神地に桃の組合の出荷場が出来るといになると、各農家では、それぞれ家号(例えば、みや舎)などと箱につけ、出荷することが出来ました。

桃の品種は「伝桃」「おけや」「白桃」で、中でも白桃は形もよく味もよいので喜ばれました。

しかし桃の栽培は手がかかりました。五月に桃の袋かけ六月には、桃の木の消毒、肥

も必要な基本的でまた永遠の課題です。少人数やITなど指導方法の改善や総合・選択授業の工夫をすすめることも、基礎基本のため家庭学習の習慣づくりもお願いしたい。

○子も親も成長を考える

大規模校も共通理解や情報を共有してしっかり指導するのは当然です。個々のさまざまな問題は、担任・顧問・生担・カウンセラー・養護など沢山のチャンネルで思春期の豊かな心を守りたい。

○生徒会に部活に燃える

活力ある学校は生徒自身がつくっています。楽しい行事や部活ができるように努力しています。総会で決まった今年の年間テーマは「協力しあう三原色(一三学年)」でした。どんな素敵な色を生み出すか期待してください。

子供たち・保護者の意志と西中の伝統を大切にしたい、そこから特色ある学校をめざしたいということでした。

最近文部科学省は、盛んに「確かな学力・豊かな心」を強調しています。国民の不安の反映でしょうが、振り返ってみれば西中の教育目標こそ「しっかり勉強しよう・豊かな心を持とう」なのです。

この先輩・二万人を超える卒業生からの精神を、現代の状況のもとでどう実現するかが私たちの使命とします。

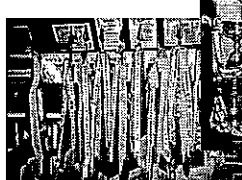
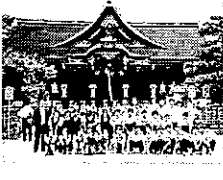
○分かる授業で楽しい学校

不登校や問題行動の克服に

卒業記念文集で最も多いテーマは部活動と修学旅行の思い出です。

生徒たちの姿

15年度の修学旅行は5月26～29日奈良・京都方面でした。



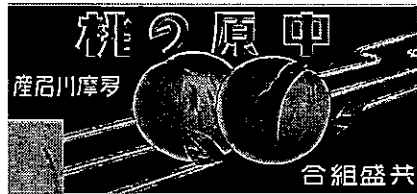
一四年度は「Get the Win!!」のテーマで市総体に男女総合優勝できました。もちろん今年もがんばります。

地域・今昔あれこれ!

中原桃の名産地

料(人糞)をやり、七月より八月は出荷。九月は枝の手入れ、十月より十二月桃畑を耕す、一月より三月肥料や剪定、四月葉かけと、一年中桃の木の手入れをしなければなりません。とくに出荷の時は、子供も手伝い、家族全員の仕事となりました。

それまでして農家の人たちが桃作りに励まれたのはなぜでしょうか。当時の農家は稲と毛米と桃と野菜栽培からの収入のみで生活する。純農村でした。そうした中で、この桃から得る現金収入は大へん貴重なものでした。つまり、農



桃の出荷箱の横に貼ったレッテル(神地の小川一朗氏提供)

の水路樹を育成し、環境美化と地域の親睦を図っています。

確かに二ヶ領用水せいのには赤・白、色とりどりの桃の花が美しく咲き、わたしたちの目を楽しませてくれます。

こうした美しい桃の花の裏には、先人の努力や、また懐かしい思いがあることを忘れてはなりません

(文責・石栗正夫)

耳をかたむけたい 町の人たちの声

小田中に住む人たちが

小田中四〇〇本。見事な黄金の大輪が咲き誇りました。「夏にはひまわりが咲いた」「秋にはコスモスが満開」タウンページにも紹介されました。

今、この道をコスモスの道、ロマンの道として、今年も両側四〇〇メートルに数千本のコスモスを咲かせたいと楽しみにしています。

どうぞ見に来て下さい。

はじめまして!
中原宿舎
自治会長 村田 頼重

私たちが一家は、昨年八月二十日、上小田中の住人となりました。私たちにあって、上小田中は、初めての土地ですが、都心に近く、等々力公園や二ヶ領用水など緑も豊かな住みよい土地柄に心から親しませて頂いています。新参者で土地感もなく町内での付き合いに疎い自治会長ですが、転勤族を束ねて、町内の皆様と楽しくやって行きたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いたします。

コスモスの花とともに

コスモスグループ

楽しい「子育て」

『一緒に話ませんか 子育てについて』

子育てサロン

日時：毎月第4火曜日 10:00～11:30

場所：JAセレサ中原支店 和室

孤立しない子育てのために

中原区主任児童委員 岡村昇

地域の中で楽しく

代 すづ糸

老人会で子育て支援、ボランティアの話しを聞き、以前より何か地域でのお手伝いをと模索しておりましたので、早速申し込みました。

十一月末に支援講演会に出席し、二月の研修会で見守りたいのボランティアに申し込みたいしました。二月末から参加しています。

当初は多少の気構えもあり

◎編集後記

○会報「大ヶ谷戸こだなか」第8号が刊行されましたので、お届けいたします。

○今回の記事を拝見しますと町会の人事の異動や敬老の祝方の変更、また防災訓練や盆踊りの町会合同など、新しい変化が町会に生じたことと、時代の変化にともなう対応として積極的に受けとめ、共にみんなで助け合い、平和な町づくりをめざして努力していきたくものです。

(M・I)